



「尚徳」 11月号 第505号 平成26年11月28日

鳥取大学附属小学校 学校便り

<http://www.fuzoku.tottori-u.ac.jp/~fusho/>

題字「尚徳」は、住川英明教授（地域学部）



「湖山池アラカルト」

鳥取大学附属小学校 教頭 鈴木英之

附属小は自然に囲まれた学校です。冬によく晴れた朝は、湖山川の橋の上や校門正面を入った通学路、校庭の真ん中などから、西の山並みの低くなったところに大山が白く光って見えます。湖山池の湖面には、紅葉を終えた山々や霜枯れた湿原の葦やススキが鏡のように映っています。冬場の北西の強い風は海から湖山池や桂見の山の低くなったところを遮るものなく吹き抜けるため、鳥取中心部より降雪量が少ないです。冬場、池から蒸発する水蒸気で、湖面上空に風に沿って、小さな雲が連なって見えることもあります。

桂见到少年自然の家があった12年前までは、4年生の「森の学校」では、自然の家に行き、森を散策したり、飯盒炊爨したり、湖山池をカッターボートで漕ぎ進んだりしていました。また、4年前、湖山池湖岸のお花畑ゾーンで今の6年生がポール・スミザーさんと出会い、その縁で尚徳の森の落ち葉で腐葉土作りを学んだこともあります。

一昨年度から潮留の水門が開けられたので、大潮の時には湖山川を通して海水が逆流します。屋上で子どもとその逆流の様子を観察しました。塩分を含んだ湖山川の流れは、すぐには湖山池の水と混ざらず、少し深いなめらかな青色のまま蛇行して青島付近まで続いていました。

ふれあい遠足では、高学年は青島近くの湖岸からハゼやゴズを百匹近く釣りました。水中の岩を見るとフジツボの稚貝がびっしりと着いていました。水門開放前はアオコやヒシが湖面をびっしりと覆い、悪臭を放っていた池も、今は潮の香りがするようになりました。

また、毎年、附属小の3年生を中心に総合的な学習の時間「ちいき」で湖山池について調べています。漁協の方に水門を開けたことによる水質の変化や採れる魚や貝の種類の変化を尋ねたり、以前は、家庭排水をできるだけきれいにするため、排水溝にネットを使ったり、リンを含まない石鹸を使って洗濯したりしてたことを地域の方に学びました。

先日、3年生の一周探検についていきました。以前は道が途中で途切れていて、葦をかき分けて進んでいたのですが、今は遊歩道ができて楽に一周ができます。石窯漁の石組みや防己尾城（つづらおじょう）跡、青島公園など史跡・旧跡では、班ごとにカメラで湖山池マスコットキャラクター「こいけちゃん」の人形をどこかに入れ込み石碑や看板、史跡などを撮影し、湖山池紹介の資料作りをしていました。子どもたちはよりわかりやすく、より楽しい写真や資料にしようと班で相談しながら撮影していました。この日は遊覧船の試運転も行われていて、水質がだんだんよくなってきた湖山池周辺は、施設や道路も整備され、市民の散策の場や観光の場になりつつあります。

湖山池の湖畔を3年生と歩きながら、これまで附属小子どもたちと調べてきた湖山池の自然や環境の変化、周囲の歴史・文化などを思い出しました。



【3年 湖山池一周探検】

12月の主な行事予定

	11日（木）	福祉体験4の2
1日（月）	入試準備のため保護者入校禁止	後期個別懇談（1～5年）1日目
2日（火）	委員会活動	12日（金） 後期個別懇談（1～5年）2日目
4日（木）	給食後下校13：00～	15日（月） 後期個別懇談（1～5年）3日目
5日（金）	臨時休業日	16日（火） 代表委員会
9日（火）	不審者対応訓練	17日（水） P T C C井戸端会議
	5年社会科見学	18日（木） 第2回学校保健委員会
10日（水）	福祉体験4の1	19日（金） 全校集会 5校時
	集金引落日	20日（土） 冬季休業日（～1月6日）

多くの方々に支えられている附属小学校

先日より、職員室前の廊下には大きなクリスマスツリーが置かれています。

これは、以前、附属小学校で英語活動を指導してくださっていたデボラ増井先生が、わざわざ学校に足を運んで設置してくださったものです。



赤や黄色に輝く電飾に彩られたクリスマスツリーに、登校してき【クリスマスツリー】た子どもたちはとても喜んでいました。

これまでも、環境整備作業の前後の休日には、懇話会OBの方が草刈りをしてくださるなど、多くの方々が「学校のためになるなら微力だけでも…」「子どもたちが喜んでくれたら」と、すすんで活動してくださっています。こうしたお気持ちは、必ず子どもたちの心に届いていると思います。

改めて附属小学校の伝統と誇りを感じたひと時でした。

人権教育参観日開催

11月20日（木）に、人権教育参観日を開催しました。

最初に、各学級で人権教育に関する学習を公開しました。



1年生では、保護者の皆様にご協力いただき、一人ひとりの【熱気に溢れた講演会】子どもたちのよさを互いが認め合う学習を行いました。

また、6年生では、平和の大切さや戦争がいかに人権を踏みにじるものかをゲストティーチャーの方に教えていただきました。

講演会では、鳥取大学の小林勝年教授に「どの子にも起こる『いじめ』～学童期の人間関係～」と題してお話いただきました。テレビドラマ「金八先生」のモデルになった、



【6年 「和学習」】

「南中ソーラン」に関わったエピソードを交えながら、「いじめ」に対処する大人の心構え、意識の持ち方などについてご示唆いただきました。

「全校一斉造形あそび」開催



【2年 段ボールトンネルづくり】

11月6日（木）に、全校一斉造形あそびを実施しました。

1年生から6年生まで、それぞれの学年でテーマを決め、各会場で造形あそびを満喫しました。

2年生は、体育館全面にダンボールでトンネルをつくりました。左右に曲げたり、途中から枝分かれさせたりと、友達と協力して長い長いトンネルを作りました。その後はトンネルにもぐって遊びました。

また、3年生は紙を丸めたり貼ったりして、塔を作りました。天井まで届くほどの高い塔を作ったグループもありました。倒れないように補強したり、もっと高くなるように継ぎ足したりと、集団で力を合わせて活動していました。



【3年 タワーづくり】

～教職員シリーズ～

「幼稚園に学ぶ…発達段階を考慮した接し方」

附属小学校 本田暢彦

いきなりですが、今年度、私はある幼稚園のPTA会長をしています。

この幼稚園はPTAの会議が平日の昼間なので、会議に出席して何か発言する機会ほとんどないのですが、その代わり、鳥取市の私立幼稚園PTA連合会の会に出席し、他の幼稚園の代表の方々と活動を進めてきました。

その中で、先日、幼稚園フェスティバルというイベントが行われました。私は、このイベントの担当の1人でもあったので、計画の段階から準備のお手伝いをさせていただきました。今年は、このフェスティバルで「鳥の劇場」さんに「アナシと5」というお話の公演と、「かちかち山」のワークショップをしていただきました。

普段は6年生を目の前にしているのですが、何百人もの幼稚園児に話や指示を聞いてもらうのはとっても大変だと実感しました。と同時に、幼稚園児は「〇〇のように声をかけても△△のような動きをするんだな」ということが分かり勉強になりました。

幼稚園の先生はすごいですね。尊敬します。

幼少中の連携が将来的に教育の流行になりそうな雰囲気もありますが、年齢や段階に合わせて話し方や指示の出し方に気をつけないといけないですし、きちんと指示や気持ちを伝えるためには自分がどうすればよいかを自分自身で改めて考えていかないといけないなと思いました。